

ロジスティクス環境会議

第2回共通基盤整備委員会 議事録

・日時：2004年3月15日(月) 15:00～17:00

・場所：東京・港区 (社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

・出席者：17名

・議案：

- 1) 共通基盤整備委員会の活動内容について
- 2) その他

・開会

定刻、津久井委員長により、開会が宣された。

・議事の経過

1. 議事

津久井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 共通基盤整備委員会の活動内容について【資料2】

津久井委員長より、当委員会は各委員会の活動を支える役割を担っている。まず、ロジスティクスの環境活動に関連する用語の整備をしていきたい。用語については、物流学界を通じてJILSの助成金を活用し、既に対象となる用語のピックアップも始めている。JILSのホームページを活用する予定であり、3月にはデモが出来るような状態にしたい。また、物流企業が環境報告書を積極的に発行できるようにガイドラインの作成等も当委員会の活動として行っていきたい。是非、各メンバーにご尽力いただきたい旨の依頼がなされた後、資料3に基づき、正副委員長ミーティングの検討内容と委員会の議題と(合意形成)したい項目について説明がなされ、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

- 【委員】リンク集については、各メンバーが持っている情報を集約しても良いのではないかと。
- 【委員】書籍、文献情報は、カテゴリーや、それをどのように集めるのかを議論することが必要ではないかと。
- 【委員】リンク集や文献情報等は、優先順位をつけて作業する方が良いのではないかと。
- 【委員】環境報告書のガイドラインに関心がある。
- 【事務局】環境パフォーマンス評価手法検討委員会でも課題としてあがっている。委員長ミーティングで調整していきたい。
- 【委員長】用語集については、物流学界のメンバー数名でたたき台を作成し、当委員会のメンバーの意見を入れ、完成度を高めたいと他委員会メンバーにも公開していきたい。第3回委員会でデモを行いたいと考えている。
- 【委員】環境会議の活動を行ううえでも、用語定義の重要性は高い。定義を行う優先順位をつける必要があるのではないかと。

【委員】国際動向については、まずは大使館等の出先機関から情報収集するのが良いのではないか。

以上のような意見交換が行われた後、津久井委員長より、次回委員会にて、用語集のデモを行う旨の確認がなされた。

2) その他

今後のスケジュールについて

第3回委員会は、正副委員長にて調整のうえ、開催することが確認された。

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、津久井委員長は閉会を宣した。

以上